

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 地明地区 測量設計地質調査業務委託(急傾斜地崩壊対策・交付金)

事業名 または 工事名 地明地区 測量設計地質調査業務委託(急傾斜地崩壊対策・交付金)

調査目的及び調査対象 その他 地すべり・斜面崩壊

ボーリング名	No. 1		調査位置	広島県庄原市西城町 小島原			北緯	35° 00' 58.293"					
発注機関	広島県北部建設事務所庄原支所				調査期間	2022年 10月 31日 ~ 2022年 11月 7日		東経	133° 09' 11.267"				
調査業者名				主任技師			現場代理人		ボーリング責任者				
孔口標高	T.P. 509.72m	角			方位			地盤勾配			使用機種	東邦D1-B	
総削孔長	6.00m	度			エンジン	ヤンマー-NFD-12		ポンプ	東邦BG-3C				

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記述	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試験採取	室内位置試験	削孔月日	
												深度-N値図								深
1	507.82	1.90		礫混りシルト	M-G	黒		rc1	完新世	礫片・草根等を多く混入する表土を含む地層上。 コアが圧縮される程度緩い。 φ=10~30mmの角礫を約1~2割含む。 細粒砂を1割程度含む。	11/01	1.15	1	1	1	300				10/31
2	507.02	2.70		礫・粘土混りシルト	G_M-C	黄褐色		rc2		粒状は上位と概ね同様。 色調が黄褐色となり砂分が若干増加傾向。	4.90	2.15	2	2	6	300			11/1	
3	506.57	3.15		流紋岩・礫質土	Ry_GF	暗褐色			後期白亜紀	基盤岩の強風化部。岩盤等級D級。 深度2.70m~3.00mに硬質な岩塊を混入。 コアは所々で砕け中~粗粒砂の砂状となる。	4.90	3.15	21	21	8	50	210			11/2
4				流紋岩・軟岩	Ry_WR	暗灰				岩盤等級CL~CII級 L=150~300mmの短柱状コアへ礫状で採取。 ハンマー軽打で潜在割れ目沿いに割れる。 開口亀裂多く密集部は岩片~礫状を呈す。 岩片はハンマー打撃で細片~礫状に砕ける。	4.90	4.15	20	16	14	50	300			
5										割れ目の一部に粘性土嵌在。毛髪状割れ目あり。 亀裂角度は85~70度、40~30度程度が認められる。 亀裂面は酸化し褐色汚染を受ける。 2.70m付近から全漏水。	4.90	5.40	貫入不能		50	0				
6	503.72	6.00									4.90	6.00	貫入不能		50	0				